

社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）長野林業土木協会

活動内容	森林浴発祥の地、赤沢自然休養林において 遊歩道の整備や環境美化活動を実施
1 実施年月日 : 平成31年4月22日（月） 2 実施場所 : 長野県木曽郡上松町 小川入国有林 3 参加会員数 : 木曽支部 13企業 31人 木曽森林管理署職員 4人 合計 35人 4 活動内容 :	森林浴発祥の地、赤沢自然休養林は1970年に全国で初めて自然休養林として開園し、面積は728haで300年から400年生の木曽桧を主体とする木曽五木等（ヒノキ、サワラ、ネズコ、ヒバ、コウヤマキ）が自生しています。 木曽の森林は、江戸時代初期からの森林保護政策により、美しい桧林として存続し、特に赤沢一帯は御料林や伊勢神宮の神宮備林に指定されるなどにより、伐採を免れてきた地帯です。 現在の赤沢自然休養林は、片道1.1kmの森林鉄道が運行し、森林鉄道記念館、や森林資料館、セラピー体験館があるほか、全長20.1kmの遊歩道等が整備され年間多くの観光客が訪れています。 木曽支部は、毎年、木曽森林管理署管内でボランティア活動を行っており、今年で11回目となります。 今年は27日に赤沢自然休養林の開園を迎えるのを前に、老朽化した遊歩道の整備を行い、階段を設けたり、水がたまる場所の迂回路の作設を行いました。 同支部は赤沢自然休養林と王滝村の田の原天然公園の遊歩道の修繕作業を年ごとに交互に行っている。 赤沢自然休養林は森林浴を目的に訪れる人も多く、開園後に訪れる多くの観光客の安全を考え、丁寧に作業を行っていました。
活動写真	 作業前のミーティング



木製遊歩道の修繕作業